

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

■子ども育成学部 子ども育成学科

五十音順

科目名	区分	履修年	単位数	担当教員	授業科目概要
子どもと環境	学部共通	1	2	石倉 卓子	幼稚園・特別支援教育の実務経験のある教員が、幅広く子どもを取り巻く環境＝子ども環境について考え、実践していくために必要な基礎的な知識を得ることを目的として学びを深める講義を担当している。
国語科教育法	専門	3	2	岩崎 直哉	小学校教諭の勤務経験を持ち、専門である国語担当の教員が、小学校国語科教育の内容や方法が分かるように、国語科の基礎知識を習得し、教科書教材を基にした教材研究や指導計画、指導法の原理等を学ぶことができるよう、また模擬授業の実践と観察を通して学習指導の具体を理解できるよう講義を担当している。
教育心理学	専門	2	2	大平 泰子	労災病院心療内科の心理判定員としての勤務経験を活かし、学校教育にかかわるテーマを中心に、教育実践の観点から子どもの心理発達を考察する。講義では、記憶、学習、動機づけ、学級社会、教授法、教育評価などについて解説する講義を担当している。
体育科教育法	専門	3	2	金子 泰子	中高校教諭の勤務経験を持ち、専門である体育担当の教員が、小学校体育の目標および学習内容、および小学校体育における各種教材の指導法を理解し、体育的活動の計画、指導実践を通して、教材準備、技術指導、評価方法に関する知識と技術を身に付けさせるための講義を担当している。
特別支援教育論	専門	4	1	河崎 美香	特別支援学校の勤務経験を持つ教員が、特別支援教育の目的、法制度や体制、小学校における現状と取り組み等を広く学び、特別支援教育及び障害のある子どもの理解を深めるための講義を担当している。
図画工作科教育法	専門	2	2	佐部利 典彦	小中学校教諭の勤務経験を持ち、専門である図画工作担当の教員が、小学校図画工作科に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指すため、主として図画工作科の特性を理解するとともに、具体的な実践事例に基づきながら、指導のポイントや学習支援のあり方等を考察し、また、教材研究や発表を通して、楽しい図画工作科の授業づくり、指導の構想をデザインする知識や技能を身につけさせる講義を担当している。
算数科教育法	専門	3	2	辻井 満雄	小中学校教諭・校長、県教育事務所長の勤務経験を持ち、専門である算数担当の教員が、算数科教育の目標・内容・方法を理解し、小学校算数科の授業を計画し実施するための素養を身に付けさせるため、また算数的活動を通して、教材開発、学習指導、評価方法、授業研究に関する知識と技術を修得できるよう講義を担当している。
音楽科教育法	専門	2	2	堀江 英一	中高校教諭の勤務経験を持ち、専門である音楽担当の教員が、小学生の実態を子どもの発達段階に即して理解するとともに、小学校における音楽科の学習指導に必要な知識を「指導目標」「指導内容」「指導方法」の面から習得できるよう、また小学校の子どもの実態に即した授業を計画し実践する技能を習得できるよう講義を担当している。
理科教育法	専門	3	2	松山 友之	中高校教諭・教頭の勤務経験を持ち、専門である理科担当の教員が、明治から現在までの日本における理科教育の変遷を概観し、続いて現行の学習指導要領のA・B各区分の実際の指導例、観察・実験の進め方、観察・実験における事故防止、理科におけるもの作り、指導案の作成、授業設計と評価、情報機器（ICT）の活用について扱い、模擬授業を行う講義を担当している。
障害者福祉論	専門	2	2	室林 孝嗣	ソーシャルワークの実務経験がある教員が、障害者福祉の理念と意義、障害者福祉制度とその発展過程、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉需要について理解し、障害者総合支援法や障害者福祉に関する法とサービス体系について学ぶ講義を担当する。
児童・家庭福祉論	専門	1	2	宮田 徹	富山児童相談所心理判定員（県職員）としての勤務経験を活かし、「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める講義を担当している。

上表は、実務経験のある教員の代表的な科目を列挙しています。

全学共通科目単位数	0
学部等共通科目単位数	2
専門科目単位数	19
子ども育成学部 合計単位数	21